

## 薬事委員会 WG 記録

日 時：平成 30 年 7 月 2 日(月) 17 時 30 分  
場 所：薬剤部・カンファランス室  
出 席 者：安田、諏訪、池田、田中、加納、中島、堀  
薬局等出席者：井口[岐阜薬科]、宇野[たんぽぽ]、山内[薬剤]

### 協議事項

#### 1. 院外処方申請品目の採用について

新たに申請のあった 11 品目(ネキシウム懸濁用顆粒分包 20mg、オルケディア錠 1mg・同 2mg、アトーゼット配合錠 HD、パルモディア錠 0.1mg、アジレクト錠 1mg、エンブレル皮下注 25mg ペン 0.5mL、アレサガテープ 4mg、ドボベットゲル、ラパリムスゲル 0.2%、ヒューマログ注ミリオペン HD)について協議の結果、採用を承認した。

#### 2. 院外処方品目の採用中止について

前回の WG で採用となった薬品の同効薬から、オングリザ錠 2.5mg を採用中止とした。また、処方量の減少に基づき、関連診療科から中止の確認がとれた 2 品目(ヒューマリン R 注カート 300 単位、バイエッタ皮下注ペン 5 $\mu$ g ペン 300)を採用中止とした。アラバ錠 20mg を採用中止とする意見が挙げられたが、使用量を確認したうえで中止を検討することとした。

#### 3. 院内緊急購入申請品目について

新たに申請のあったオクソラレンローション 0.3%について協議され、使用用途や必要性について確認した。

### その他

#### 1. 一般名処方オーダーの開始について

本院では後発医薬品の選択基準として、オーソライズドジェネリック (AG) 製品を推奨しており、院内処方から切り替える場合も、トラブルを防ぐため可能な限り同じ製剤を使用して頂けるよう保険薬局へ要望した。また、先発品と後発品で適応差のある薬剤について、切り替えにより適応外とならないよう対策が必要との意見が挙げられた。

次回薬事委員会 WG の開催日時を、平成 30 年 8 月 6 日(月)とした。